(二) 第五百三[illegible]號

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久[illegible]一郎
京城南部[illegible]小門通（電話六[illegible]三）
發行所 京城新報社

清國朝廷の内訌

最近の北京消息によれば[illegible]五大臣の内[illegible]として[illegible]漢人側代表大臣と[illegible]之洞の没後著しく政治上の融和を欠き事毎に意見を異にし常に反目嫉視の間に[illegible]しつゝありしが近来慶親王[illegible]氏に對する漢人の[illegible]しく[illegible]るに至りたる内情を聞くに慶親王氏は支那の國事にてこそ[illegible]れ其の政治上の手腕に至りては全く[illegible]の[illegible]を有せず[illegible]より[illegible]するの[illegible]も實際に於ては[illegible]の[illegible]に行れ慶親王氏は徒に其の職印を[illegible]するに過ぎざる有様なるより斯くては漢人の勝[illegible]を伸ぶるに由なく天下は到底滿人の天下たるに終るべしとの説を爲すものを生じ遂に全國に渉りて其の無能を非難するに至りしも[illegible]なり而して[illegible]有力なる漢人側大官は此際[illegible]氏と[illegible]めて軍機處に入らしめんと奔走する向もあれども[illegible]氏は寧ろ慶親王[illegible]二氏に次ぐの[illegible]家にして頗る開明人士の意に滿たざるものあり到底入閣の望なかるべく漢人側の[illegible]は頻りに代表者の物色に[illegible]心し居るとてふ

韓國大豆の前途

元來韓國に於ては外國輸出品としては先づ大豆を以て第一に位するも從來輸出としては日本に於ける醤油釀造用及び肥料として輸出するに止まりしが一昨年頃より歐米に於ける石鹸の原料に供するために其の需は極めて[illegible]少なる韓大豆の歐米市場に現出するに至れり、然るに一方滿豆とも云ふべき滿洲大豆は三井物產の手に依りて年々數十萬噸の歐州輸出ありて歐米市場は滿洲大豆あるを知りて韓國大豆あるを知るものなくために韓國大豆は歐米市場の話題に上りたる事なく遺憾ながら一昨年までは一回も歐米輸出を見たる事なかりき然るに一昨年十二月に於て韓國有數の[illegible]川大豆を第一回の輸出品として[illegible]に現はるゝや從來韓國大豆に比較すれば[illegible]に於て遙かに劣れる滿州大豆の市場に[illegible]り[illegible]たりしものが始めて輸出とは云へ滿州大豆を壓倒する所の市場に現はれたる事なれば市場漸く韓國大豆の良質なるを知らるゝに至れり然るに一昨秋は兇作なりしため歐米の希望を償ひつゝも大輸出を企てつゝはざりしなりしも昨秋は比較的の豊作なりしかば三井物產は約三千噸を輸出せしに英國の大歡迎を受け將來有望を以て目されつゝあり故に韓大豆の前途は先づ以て有望と看做して差支なし少し奮發して國家のために事業家の奮鬪一番個人に出來ぬとすればシンジケートでも組織して大に發展を計畫して貰いたい

▲明太魚業趨勢　近湖よりの第一回漁獲出の時に非常に良品にて新業家の望み多かりしが寄港の一週間に亘る天候惡かりしため何れも失望の念に馳られつゝありしが其の後天候恢復し續いて豐漁となりたると一時問題たりし[illegible]船も左して大事ならざりしとに依り近來は程なき故に毎朝漁の入港前には海岸は戰場の[illegible]かたつけをする樣な始末なれば明太漁區の韓人[illegible]賈力太に躍進せり（城津通信員）

●元山附近明太魚况

朝鮮海水產組合元山支部よりの報に依れば新浦近海に於ける明太魚は前年に比し漁期少しく後れ十一月十七八日頃初めて漁獲ありたり其主なる根據地は前津、陸臺、新浦、馬養島等にして同月二十九日暴風の襲出漁したる船數は約千艘に達し當時の漁獲高は平均五駄位に過ぎざりしが時化後本月十四五日頃までは各船共二三回從業し何れも相當の漁利を擧げ最多五十駄最少二十駄平均三十駄位漁獲したり而して難破船及び行方不明船[illegible]のため出漁[illegible]も其總數漁獲高一割減少したりとするも其漁獲高は二萬七千駄にして一駄の相場十七圓乃至十八圓なるを以て其金額四十萬圓以上に達し一時銷沈せる人氣漸く回復したり今後此趨勢を以てせば本年の漁況は例年に比し好望にして[illegible]難の爲め減じたる生產力は自然回復するに至る

●平壤の穀市と相場

例年結氷期に際しては平壤市場の取引一般に閑散なるを免れざれども本年は殊に甚しく黄海海方面より僅に粟約八百叺の輸入ありたるのみにて目下は輸出殆んど皆無の姿なり新年の相場は韓白米八圓八十錢中白八圓、大豆四十四五十錢、粟六圓六十錢、小麥五圓五六十錢、蕎麥四圓二十錢、綠豆六圓二十錢、黍三圓三十錢、裸麥四圓五十錢、大麥二圓五十錢、小豆五圓五十錢なり

北韓通信（十日着社）

▲端川の雲母事業　北韓特產の雲母礦は昨年以來礦區の願者にて各方面より山師入込み種々物議を醸し權利問題に一時は火の手中々熾んなりしが昨今漸く鎮静し礦主も夫々決定したる樣にて多分一西洋人の手に歸す模樣なれば同氏は資金調達のために本國に歸省中なりこれにしても何時もながら本邦事業が手緩いには愛想が盡きる希くは今

◉新刊紹介

●韓國中央農會報　西川農學博士の韓國輸出牛と檢疫▲岸農學士の農村の研究は斯界の滿讀を要す（大和町二丁目韓國中央農會發行）

●緣熱　[illegible]骨子の新派と舊派の俳句を[illegible]明評したるは天狗の一讀の價がある（東京錦町下二番町二十三番地[illegible]社）

●敎理の友　獨學の光あり（東京神田錦町三の十七敎理專修院）

●蠶業月報（[illegible]報發行）

日本銘刀傳

第十五席　邑井一　講演

村政は素より刀の切れるのでは師匠の正宗すら驚くといふ位だから　村『謹が何と云つたので、此家督は已に決定た者だ團九郎は先へ弟子に成つたから、兄の名は在るが業は無いも同樣だ、未だ／＼貞宗は何う骨を粉に碎いても大丈夫だ俺には及ばん、一つ俺は師匠の眼を驚かせる程の力を揃へて見せようといふ意氣組團九郎は考へた。團『まて／＼此度の一件は實に生涯一度の大事だけれども、いくら刀を善く鍛冶た所で、たがねさんがあんな政近さんのやうな髭つ面は可厭だよと云ふやうな事じやア不可ねぬ、腕は何うでもたがねさんが是非老舗さん團九郎さんを望にして下さいなといへば、親爺馬鹿だ、子に甘いのは常だから正宗が宜しく／＼と承知をするやうだから刀は跡廻しにして先づ娘の方から手に入やう……』と、思つた、團九郎正常は二十八才喜左衛門村正は二十五歳の血氣盛り貞宗は二十四歳だ此三人とも十一二歳から正宗が弟子にして育てたのだから、拙いものは一人もない、然し相州傳の匙加減の極意を授ける人物と云ふ點は最も重きを置くのであるが、情けないことに團九郎は此奴色情の方へ心を寄せて居りまして内々娘のたがねへ手を入れたいと云ふ考へ、所が三人の中で彼む喜四郎、此の仁は別段にたがねの方に望みがあるでもなし、今又た師匠の極意をする相州流の秘密を覺ねたいとも思ひません『何うぞ俺は三人のうちで一番劣つて居るものだから、まア乃公の上には喜左衛門なり、團九郎なり兩人の兄弟子が一生懸命に骨を折つて見れば、逆も此の方の刀は師匠の氣に入りさうなことはないまだ／＼モウ少し修業をせずばなるまいが、畢竟するに其の仲間に入れられたのだから是丈でも名譽として、此れは俺丈けの腕相應の刀を一本打込まふ』と、誠に温順な仁ですから精神を定めまして、二人も上がありまするものですから、唯向ふ鎚の者を頼んで毎日／＼コツ／＼と仕事を致して居ります、所が團九郎は聞かな[illegible]な娘の樣子を伺つて居りましたが、今日しも正宗は一寸他行致しまして宅に居りません、仍で丁度斯う云ふ折こそ幸と思ひますから、仕事場から密と抜け出で、奥の座敷へ出掛けて參つたると娘のたがねは左樣なことは知らず、頻に針仕事を致して居りました、緣側から密と上つて來ました團九郎、『イヨーれ樣さん、大層貴方は御精が出ますな　たが『オヤ團九郎さんかね、貴方何の御用があるのでござんす　團『ヘン何の御用つてまア其樣[illegible]面目くさつて怖い顔をして睨みなさらんでも宜しい、今度の一條は貴女れ聞きなすつたでせうな　たが『何でございます　團『何かつて熱う考へて御覽なさい阿父が貴女に内々申し渡してあるに違ひございますまい、喜左衛門と私と彦四郎の三人が一口づゝの刀を打納めて夫れを師匠が撰びの上、そこで貴方の御養子に定になるんです、其の中師匠の氣に入つた者を撰びれ取りになつて、貴方を女房に遣らうと仰しやる[illegible]だが貴女の思召で何うでもなります、喜左衛門と云ふ奴はまア恐ろしい偏屈人、怖い男でございますから、彼んな者が貴女の亭主に成つて御覽、動もすると貴女を打ち打擲をして、隨分酷い亂暴も仕兼ません、又た彦四郎は些とポンヤリ者でしてね、彼方向いて居ろと云つたら、二年でも三年でも向いて居ると云ふ人物で、到底あの者は御當家の跡目相續は駄目だ、私の口から斯樣申すと如何しうございますが、ね[illegible]たがねさん、御師阿父かね、三人の中で誰か定めて遣らうと仰云いましたら、何卒團九郎さんにして下さいと、斯う貴女が一口有仰る、宜いですか、然うしたら阿父は無論團九郎の鍛つた刀は俺の鑑識に適つたとあつて、貴女が一寸一口云ひなすつたら夫れで宜いのです』



滿洲劇の開幕（一）

京城新報

飛報あり曰く米國は滿洲鐵道を中立せしむる爲め日英露米獨佛諸國のシンジケートにて資金を調達し之を淸國政府に貸與し同國政府をして滿洲に於ける日露兩國の鐵道を買收せしめ政治及軍事上に使用せしめずとの意見を列國に向ひ提出したるに日本は主義に於て賛成し尙露國と協商すべしと答へ英國は主義に於て賛成し露國は之を保留すべしと回答せり

余輩は上記一片の飛報が果してドレ程の眞實を語るものなるやを知らぬのである而れども或事からして余輩も或事を知つて居るのである、が故に夬て之とを思合せて米國が今度の樣な提議を爲したと云ふことを信ずるのである。否な今日の場合どう有つても信ぜざるを得ないのである、玆に於てか余輩が常に希ばざりし滿洲劇は遂に開幕を告げたのである、我日本が斯の劇中の如何なる部分を演じ又**韓半島**が斯の劇の進展に因つて如何なる**影響**を受くべきかは否やでも應でも吾人日本國民に於て**覺悟**と研究を爲さねばならぬこととなつたのである。

ポートマス平和條約は米國政府及前米大統領ルーベズルト氏の斡旋に因つて出來たのである、露國は知らず我日本は米國の厚意を謝し常に同國に向つて感謝の意を表しつゝあるのである、現在我日本の滿洲經營なるものはポートマス條約條文の遂行に外ならぬものであつて彼の**ポートマス條約**を基礎として戰後に作られたる**日清協約**に規定せる範圍內の活動に外ならぬのである、而て今回米國が問題としたる鐵道の如きは云はゞ條約協約の結果其經營の責任が我に歸したるものにして我の貧乏なる今日と雖も世界列國の前に誇るに足るべき立派なる經營を爲し居らざるは事實なりと雖も我は自ら之を恥ぢて常に責任の重大なるを感と同時に鐵道其物に向つて銳意改善を加へつゝあることは世界列國人の均しく知るところであるのである。

何ぞ列强中の一二國は常に我の滿洲經營を目して他國の利益を度外視せる自己本位主義なりと稱し不絶非難の聲を放ちつゝあるのである、米國はマッキンレー時代に於て我と提携して淸國の門戶開放機會均等主義に盡力した事があるのである、我彼を解し彼我を解するを以て米國は今日に至るまで他の**浮調子なる一二國**と一シヨになつて我對滿經營に非難の聲を放つた事はないのである**深慮**ある**タフト大統領**が前にクレイン公使を免官したのも奉天大連の米領事を召還したのも全く米國政府が我の對滿經營に異存無きを表明した者であるのである、玆に於てか余輩は米國政府の**公明大量**なる態度を讃歎し同時に多き友邦中我を信ずるものは獨り米國あるのみかなと異に感じた次第であるのである、而るに此公明大量なる米國政府にして今や**突如**として滿洲に於ける我鐵道を淸國政府の有に歸せしめんと企つ之れ取も直さず**我對滿經營**を**其根本**より**破壞**せんとする者に似たり、此飛報に接して**腰を拔**したる者只り我**霞ケ關**のみに止まらんやである

東京電報

▲曾禰統監の着京　曾禰統監は令息令孃其他隨員一行と共に九日午後二時十分新橋驛に到着せり驛には官民の出迎多數也き(九日發)

▲大浦農相の西遊　大浦農商務大臣は松平日英博副總裁病氣の爲め之に代り總裁宮殿下に隨行して議會閉會後渡英夫より歐米各國を漫遊視察をなす筈(同上)

▲豫算案の提出期　四十三年度總豫算案及び工場法案は來る十八日議會に提出せらるべく又關稅改正案は二十一日頃同じく提出せらるべし(同上)

▲米國提議と當局　米國政府が列國を通じて滿洲に於ける日露兩鐵道を淸國に買收せしめ其資金は列國より貸與し其協約は政治的意味を除却し滿洲をして中立國と成さんとし此の提議は已に英、佛、獨列國りと外電の報ずる所に依り我政府當局の談に依れば米國政府が日露兩國に交渉する前に之を列國に諮りたるは如何にも米國式外交策と云ふべく英、米、獨、佛が機會均等主義として滿洲を全然中立國に成すが如きは平和を維持する上に於て賛成する事當然なるべし米政府より我政府に提議ありたるは去る十二月中旬にして露國へも同時なりしならん何故に斯る提議を爲したるかと云へば嚢に英米シンジケートが獲得したる錦愛鐵道敷設權が近來不成功に終るの形勢あるより、玆に斯の如き新手段を講じたるに外ならず大統領タフト氏が極東に注目するに何等かの外交的手腕を振はんとの希望ならん該提議に就て我政府にては研究中なれば未だ何等の回答を爲さず尤も協約に依れば滿洲は淸國に還附する筈なるも尙二十八ヶ年間の手間あるを以て例へ列國が資金調達の元に淸國に買收するとするも我政府は黨々之に應ずる事なかるべしされば該提議は寧ろ一笑に附して可なるべしと云々

▲曾禰統監の參內　曾禰統監は昨日歸京したるが近日參內し上韓國の治績に關し詳細奏上の筈也

▲度量衡と商品物　告示特許を經たるもの〻外度量衡器を商品物として韓國に輸入することを禁止する旨發布せられたり(同上)

▲寺院廢合の行惱　現在の寺院は七万二千百廿八佛像三萬七千百十七にして內務省宗務局にては此が廢合を奬勵しつゝあるも種々の事情上今尙行惱の姿にあり(同上)

▲宮內官吏と增俸　宮內省にては今般增加されたる皇室費總額百五十万圓の內二萬五千圓乃至三萬五千圓は官吏增俸額に充當する筈なるが右は政府の增俸案が通過後之れと均衡を計り決定する方針なり(十日)

▲弔問使等の退京　伊藤公弔問の爲め來朝したる鄭寅升、宋鎬昇兩名は本日午後三時新橋發歸國せり

歐州電報

▲英皇儲の御巡遊　英國皇儲エドワードアルバート殿下は明年大英國領土巡遊の途に上らるべく同時に一小艦隊を附せらるべしとの說あり(九日着)

▲貝湖鐵道と工事　露國政府のバイカル湖迂回鐵道線工事は愈々本年解氷期を以て工事に着手するに內定せり右は六箇年計畫なりと

紐育電報

▲東海岸の大風雪　二週間前大風雪ありたるが此度又々大風雪あり米國東部を吹荒し電信不通となり非常なる大困難に遭遇せり積雪非常にして如此狀況は數年來稀に見る所なり(九日着)

雜報

間島と淸國稅關

別項記載の如く淸國政府は先月二十七日付を以て間島の龍井村及渾春の二個所に稅關を設置し龍井村稅關は本月十二日より徵稅の筈なるが元來陸地貿易に就ては淸韓國の間に何等の條約なきを以て淸國は果して如何なる稅金を課すべきかは疑問なるが今日までに傳聞する所によれば外國貨物も韓國貨物も同一特別の協定なき以上は一般淸國の稅率を課する趣なるが露淸間の條約にては相互の國境を距る五十露里(十三里余)に入る貨物は無稅なるを以て之に均霑するとせば渾春は此範圍に入るべく間島は範圍外なり而して從來の兩地方面に於ける陸地貿易は全然無稅なりしと雖今後課稅をなすに至らば北韓民が常食とせる粟は其大部分を間島方面より仰ぎつゝあることなれば影に締結せし間島條約中には穀物の輸出を拒まざることを規定し居る所以にして陸地貿易の先例としては新義州に於て目下實行し居れるものあり多分斯の如き方法にて實施せらるゝならんと云

福島中將の渡滿

參謀本部次長福島中將は副官長屋大尉を隨へ去る七日神戶出港の關城丸にて大連に向ひたるが大連着後奉天、長春を經歸途は安奉線に依りて韓國に來り釜山より乘船歸朝の筈なりと滿洲鐵道問題に關し米國より提議ありたる今日に際し同將軍の渡滿は着目に値ずべし

●屠獸法實施と細則　韓國に於ける屠獸法は昨年末迄屠獸規則に準據し來れるが同規則は稅金徵收をのみ眼目とし毫も病斃牛檢査食肉取締等の事に及ばず從つて脫稅を圖りて病斃牛を密殺販賣する者極めて多く地方に於ては殆んど完全なる食肉を得る事能はず危險甚しかりしが嚢に屠獸法の發布となり八月一日より直ちに施行せらるべかりしも何分屠場規則に於て一箇年分の營業認許稅を徵しある爲め抵觸の廉多く遲延今日に及びたるが愈々施行細則も一月一日附を以て發布せられこれより屠獸法の實施を見る次第なるが右細則によれば(一)屠場の位置敷地建物、坪數及び其圖面(二)構造仕樣書及び圖面(三)落成期限(四)屠殺解体料(五)屠場の敷地が借地なる時は地主の承諾書等を所轄警察署を經て觀察使に願出で認許を受けて屠獸を行ふ場合は必らず警察官及び屠獸檢査員の檢査を受くるに非ざれば之を行ふ事能はざる事となれり各道の地價物價勞銀等により多少の相違あるべきも標準屠殺料は各一頭に付牛一圓二十錢馬一圓半四十錢豚四十錢犬十五錢に規定さる

●韓美商業會と排日　米國桑港にある大東保國會と稱する排日系の韓人團は韓美商業會なるものを組織し本店を平壤に置き支店を桑港に設け名を韓美貿易に藉りて排日思想の鼓吹に努めんとし目下盛んに運動中なり發起人は李容夏外十數名にして孰れも獨立の妄想に盛動する輩のみなるが資源地は京城に在りて有力筋と氣脈を通じつゝあるが如し兎に角排日の暗流澎湃たるは時節柄頗る注意すべき事也

●課長椅子全部空虛　京城民團役所にては醜吏被檢事以來一大恐慌を起し特に事件の影響は各課にまで波及して遂に第五課長をも拉し去られ三課長の任意辭職の外他に全部疑はしき連續として拘禁せられたり之が爲めに該役所の現狀は課長の椅子全部空虛となり居るの奇觀を呈し事務の進行上一方ならぬ支障を起したる由

●凍傷豫防心得頒布　嚢に仁川警察署巡査三名が警備船にて暴徒討伐に赴る途中難破に遭ひて凍傷に罹り內一名は肺炎を發して本月二日終に病死したるより內部衞生局にては今回凍傷豫防心得なる一冊子を印刷に附し各道警察官に分布し警察官自身の凍傷豫防法を諳せしむると共に職務上凍傷者救助方法をも心得しむる筈なり

●元山の魚市場設置　韓國政府に於ては今回元山港東町海岸に一大漁市場を設置することゝなり經費約二萬圓の豫算なるが敷地に宛つべき埋築坪數は七百五十坪にして冷藏庫吹拔上屋、物揚場を設備する計畫なるも都合によりては吹拔上屋を見合して冷藏庫のみを設くることになるべく近日より工事に着手する筈なりと云ふ

●兇漢連累と平壤署　李完用加害者李在明の連累者が平壤以北より淸國方面に多きことは既報の如くなるが平壤警察署にては連累者の檢擧に全力を盡し吳復元以下十數名を檢擧したるやにて彼れ李在明一派の徒が結托せる秘密結社の全員は殆んど其筋の手に捕縛せられたりとの風說高し

●小學生一人の年費　京城民團立小學校は現在二千三百八十五名の生徒を有するが之が經常費は約四萬三千圓を要しつゝあり而して此經費一人宛とすれば一箇年約十八圓となり母國小學校費に比すれば七八割以上の高價を要する由斯は敎員の俸給を始め一般の需用品費高價なる爲めなりと

●時局問題研究總會　同會にては去る九日常議員會開催の結果當地民團會議所の兩議員其他重立つ有志を評議員に推薦するの手續をなして來る十六日其總會を京城ホテルに開くことに決定し其他一二の事項を協議して運動の方法を定めたりと云ふ

●混酒倉庫の約定濟　漢城共同倉庫會社仁川出張所に於ては近日より混酒倉庫を開始せんとするも倉庫の設備未だ成らざるを以て同社にては韓國銀行仁川支店の倉庫を借入れて之れを補充することゝなり双方の間に於て既に約定濟みとなりたる由なり

●日本留學生と學科　韓國政府より日本へ留學せしむる學生は五十名を以て標準となし居るが之れを學科別にすれば法政、經濟學科、十人、敎育、文學科八人、農商工科二十二人、理化學科二人、醫學藥學三人、軍事學一人、普通學科三人なりといふ

●學部大臣の新年宴　來る十五日學部大臣李容植氏は學部大廳に於て新年宴會を催ほし學部職員全体及び直轄學校奏任以上職員、外國敎師、官立學校々長、敎監等の數十名を招聘し祝賀の意を表する筈なりと

●韓國留學生の監督　在日韓國留學生監督申海永昨秋死去の後久しく缺員の處今回學部秘書課長書記官李晚奎氏後任に命ぜられ本月十五日頃東京へ向け赴任の途に上る由何ほ同氏の後任は李恒權に命ぜられたり

●武田少將の來任期　現德山煉炭所長海軍機關少將武田秀雄氏は今回農商工部平壤鑛業所長として來任の筈に內定したるが現任地の後繼者を得次第事務の引繼を了へ出發する都合なれば來任期は何は未定なる由

●東亞煙草工場觀覽　東亞煙草會社にては兼て設備中の諸工事完成せしに就き明十二日を期し重なる官民を招き工場を觀覽せしめ終りて後新築樓に於て披露宴を張る由なり

●共進會出品物取揃　韓國政府より九州名古屋の兩共進會へ出品する物品は來る二十日までに一先づ農商工部へ集めて同部よりそれぞれ發送する筈にて既に大半揃ひたりと

●間島稅關事務開始　間島稅關に於ては來る十二日より稅關事務を開始し同地を通過する輸出入貨物に對して徵稅することゝなれりと

●應募巡査採用試驗　既報の如く十日より巡査敎習所に於て應募者三百余名に對し巡査採用試驗を開始せり採用人員は五十名內外なりと

●光州警察の開署式　來る十六日光州警察署にて新築落成開署式擧行の筈なるが警務局長代理として保安課長岩井警視臨場する由なり

●平安南道の敎育費　學部本年度敎育費は既報せしが其內平安南道は更に學徒獎勵費として地方費中五百七十圓を敎育費に增加したる由

●田島法學博士退京　去る八日安東縣より來京し天眞樓に投宿せし京大法科大學長田島錦治氏は一昨九日釜山に向けて出發せられたり

●杉山中尉の旅順行　伊藤公暗殺事件に關して旅順へ出張中なりし杉山憲兵中尉は昨年末一度歸京したるが昨十日朝再び同地へ出張せり

●一銀株式書替停止　第一銀行にては十日より株主總會開會中は株券の名義書替を停止したりと

●仁川穀物協會總會　仁川穀物協會にては今十一日役員會を開き十七日總會を鋒にて開く筈なり

●種苗場の增設決定　農商工部にては本年度に於て更に種苗場二個所を增設することに決定せりと

●第七回日曜會　學部及び其關係學校日本人家族懇親の爲めに組織し俵次官夫妻を會長とせる○々會は來る十六日午後零時三十分より京城ホテルに於て其第七回を催ふし席上餘興として淨瑠璃、手品、薩摩琵琶、茶番、福引等の催ふしあり二百餘名位來會の筈なりと

●兪吉濬の雲隱れ　漢城民會長兪吉濬氏は事變以來兎角不穩の行動あるを耳にしたるが氏は道殿の疑雲を避けん爲めか去る八日以來鷺梁津なる別邸に退隱なし暫く茲に滯在すべしと云ふ

●咸興郡の天然痘　咸興郡東雲田面靈興里に此程兒童八名天然痘に罹りて病死せるより其筋にては目下豫防中

●東拓會社の招宴　宇佐川東洋拓殖會社總裁は來る十四五日の頃日韓新聞記者を招き饗宴を張る筈なりと云ふ

●仁川丸仁川入港　御用船仁川丸は去る八日午前大坂より仁川に入港せり

●菊池局長の微恙　商工局長菊地武一氏は八日來風邪の爲め自宅療養中

京城民團の團債

京城居留民團にては居留地發展の大勢に伴ふ各般の計畫施行の爲め四十一年度より三回に涉り團債を起こし孰れも第一銀行京城支店より其供給を受けたるが爾來數回に償却して現在の狀況は左の如くなりといふ

	元金	償還高	現存高
第一回	一〇五、〇〇〇	二七、〇〇〇	七八、〇〇〇
第二回	八、七〇〇	四、三五〇	四、三五〇
第三回	四〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇
計	一五三、七〇〇	四一、三五〇	一一二、三五〇

右利率は第一回は年七分第二回以下は八分なる由

滯納稅金高十萬圓

京城民團に於ける稅金滯納者現在に就ては實に驚くべき巨額に達し現在尙は十萬圓の巨額あり而して同役所にては此際滯納處分法を勵行して年度內には少くとも八万圓以上徵收すべく進行中

●井上氏の出發期　井上雅二氏は十日官邸を引拂ひて京城ホテルに移る由なるが京城出發は來る十三日午前の筈

●矢野局長の歸任　六日來京浦尾旅館に滯在中の平壤財務監督局長矢野久三郎氏は同主事同道にて一昨九日歸任

●泉支配人の歸木　入京中の韓銀木浦支配人泉末吉氏は一昨九日歸浦せり

●岡崎專務の歸京　東上中なりし日韓瓦斯の岡崎氏は去る八日歸京したり

●本年韓國燈臺事業　燈臺局に於て本年新たに起工すべき燈臺工事は木浦附近の在遠島を始め南海岸に於ける魚龍島、草蘭島、鴻島、小茅島、所里島及び東海岸なる竹邊灣、元山港內及び鎭水端の九箇處に於ける燈臺新設工事の外既設の鴻島及び釜燈竿の改良工事等にして其等級は草蘭島の第三等を最高とし以下各級に分れ而此の內魚龍島、草蘭島、所里島、鴻島及び鎭水端の五箇處には霧笛號を據付け霧雪深濃の天候に際し燈火は勿論燈臺に於てすら燈臺の所在を識別し得ざる時に當りても海上の船舶をして良く燈臺の位置を知らしむる爲めに霧笛を吹鳴せしむるの設備を爲す此總工費金二十三萬八千三百十六圓なり而して上記十一燈臺の外昨年度來の繼續事業たる滑津燈臺共總て本年內に竣工す可き豫定にして光武十年以降の所謂五箇年の繼續事業たる燈臺事業も茲に一段落を告ぐることゝなる可く其の曉には韓國全沿岸を通じて燈臺(導燈、燈竿及び桂燈立標を含む)五十二個所、燈浮標七個所、立標、導燈、浮標等八十八個所及霧笛號八個所合計百六十五件を數ふるに至り從來暗黑界の韓國沿岸も之れに由つて航路の安全を保し海運事業の發達に資するところ大なる可し然りと雖ども航海者をして異に遺憾なきに至らしむるには尙は全沿岸に涉りて數十個所の標識の增置を要すべき見込なりと因に燈明機械は世の進步と共に漸次精良なる構造となり韓國に於て既に石油白熱燈又は「アセチリン」瓦斯等新式のものを使用せるが本年新設せらる可き在遠島外四箇所の燈臺には最近の發明に係る「アガ」式燈器を採用すべし「アガ」式の燈器とは瑞西國「アクチエボラゲット」商會の製造に係り壓搾せる「アセチリン」瓦斯を光源とせるものにして其光輝の鮮明なるは勿論なるが其特點は「ダレン」氏の發明に係る日光弁の作用に依り晝間に自働的に瓦斯の流通を阻止し夜間のみ點火しに由つて瓦斯量を節約するの裝置に於て看守員を要せず一度び點火すれば瓦斯罐の大小に由り三箇月乃至一箇年以上繼續せしめ得べきを以て維持上大に經費を節し得可しと云ふ

拳骨 (二)

[illegible]

強賊逐に逮捕せらる

[illegible] 捕せらる より蛇蝎視さる 里金學事といふは 賊魁尹仁淳、當 七月頃より彼の有 に應し各地の良民 が十月來の部下を り單身地方を横行 より人民よりは蛇 なるが義兵分遣 搜索に力め漸く 内洞面笠岩里の李 探知し直に之を逮 [illegible]

京龍の鐵道椿事

[illegible]

壹千圓の富士

[illegible]

威武堂々たる大賊團

[illegible]

●賊二名を殪す

黄海道平山郡 [illegible] 物品を途中にて防 [illegible] 事に去る七日憲兵 巡査一名の一隊は [illegible] の牛に芝を載せて [illegible] 方約二里牛石僑洞 韓装の賊二名現は れば取押へんとした て極力抵抗するに したるが此の兩名 [illegible] 常に徘徊して官憲 [illegible] 等仲間には有力な [illegible]

●銃器隱匿者自首

[illegible] 云へるは去る四日 [illegible] 十年十月中兵器盤 [illegible] たるも當時委員に [illegible] を得ず今日迄隱匿 [illegible] 不正なる事を自覺 [illegible] る旨申立て引續き [illegible]

●富次懸想の塲

茲新町遊廓は [illegible] 云は既に〳〵其 [illegible] 其處退け旗順は二 [illegible] 高く粉黛蘊姿の座 [illegible] 鎭と目され若し夫 [illegible] に至つては二枚と [illegible] もあつた者にあら [illegible] 標客をして叩頭其 [illegible] 其の一所の榮に預 [illegible] ひる程の長々しき [illegible] と呼ぶ白拍子あり [illegible] や重ねんと迄富次 [illegible] ぎし顔世が歌に非 [illegible] の昔師直どやらの [illegible] 縮めし可愛い戀し [illegible] 添ふ日の永樂町邊 [illegible] き男にして今日此 頭の長き夜も所者が踊る睫酉には何は 鎭まる、朝のまぬ他の見る目も挟ましき程なりしと去るほどに此の某どのれ目出度うの風吹き染めし去る四日の夜或る友に誘はれて登樓せしは春は花咲く官妓権飲めや唄への其翌日怨うした縁の繋がれし者か其日も居續けの口説の花に實が乘りて夫れからと云ふは僅か四五間上手の大桝屋の行燈も目に入らばこそ何手々々と夜も日もなく通ひ詰めたるで熱心に何子拍子も落花流水怨うやら情の水を向け今は互ひに相惚の色も濃い茶の仲とやら道庭事とは知るや知らずや富次拍子の喚き出すば何れ一騒動起らでは止まさるべしと廓雀の評判く

●醉つて噛附く

本町裏通り一丁目五十番戸六居留大工職尾崎吉三郎(二八)と云ふは一昨夜午後九時頃本町一丁目飲食店平富樓方に登樓し飾ふく酒を飲み散した果は徐々管を巻き始め剰手鉢はず食つて蒐れど酩酊し居る事とて可い加減に扱ひ居たりしが遂には皿小鉢を擲げ出す等の亂暴を働くにぞ見兼ねて出で來りし樓主平富及び同居人の江見京平の兩人が之を制止せんとせしに愈々狂ひ出し平富の右大腿部江見の面部等に噛み附きて負傷せしめたる始末に警官出張 關係者一同を引致したり

●牛の人騒がせ

一昨日午後二時頃仁川牛角洞住の朴承淳と云ふが水車牛を曳きながら京城通りに差蒐りしに該牛は何物驚きしか突然暴れ出せし爲め一時は中々の騒動なりしが漸く取押ゑて事濟み別に負傷者もなく僅かに石油行商人の張慶券と云ふ支那人が油箱を蹴り飛ばされし位とて幸ひなりき

壽座のパトリー

▲近來の大芝居でムい元旦以來引續き好評を博し居れる壽座の伊東文夫一座は今十一日は佛國悲劇『祖國』を出演する筈なりと同劇は曾て川上音次郎が最後に洋行せし際巴里の劇場に於て之れを觀覽し感嘆措く能はず遂に之を和譯し洋行土産として各地に開演し非常なる喝采を博せしが何樣大舞臺大道具を要するとて田舎の小劇場にては從來餘り上場せしてとなく勿論韓國にては初めてなり蓋きには『マーチャンドヴエニス』を演じ今又『パトリー』を演ず韓國の劇壇が伊東一座に依つて一段の進化を來したるは多とすべし

▲場割 (一)フリュクセル市場(二)唐澤伯爵邸(三)ルーバン公園(四)總督邸謁接室(五)市廳内鐘樓(六)訊問所前廊下(七)唐澤伯爵邸

▲●役割● 鍾讃文治 小泉三猿 有部總督(國宮叢之助)野有少將(泉英) 伯爵夫人富江子(藤島)有部令嬢光子(寳井)副堂大尉(池内)毛三村中尉(吉井)森山副官(小伊東)オレンジュ太公(横山)擒はれ鐘(北秋)苦井侯爵(芳川)加留田忠夫(小泉英)愛國黨首領伯爵唐澤長雄(伊東)

●無届營業の酌婦

仁川花町二丁目飲食店港 吉野方抱へ酌婦鶴澤かつ(二三)と云ふは客年内縁の夫たる大阪生れの高宮國夫なる者と開運渡韓なしたる者なるが不景氣の折柄思はしき儲け口もなきより一旦夫婦別れをなし國夫は安東縣方面へ右かつは前記港方にて酌婦を爲し居たる者なるが一昨日同人は無届營業を爲し居る事判明し樓主共々呼び出され嚴重に説諭を加へらる

●迷子一件

仁川宮町二丁目白石良吉方前に年齢四歳位ひの迷子ありとの訴へに接したる宮町派出所詰巡査は直ちに出張取調べたる處右は海岸通り武藤山三郎方住山邊仙十郎の伜れなる事五時頃に至り分明し父仙十郎を召喚して引渡さる

各地の新聞

▲曾根崎署の出火 七日午後三時十八分宿直室より出火せしも直ちに消し止めたり原因は煙草の喫殻なり

▲一萬弗の拐帶者 嚢に清國北京に駐在中官金二萬弗を拐帶し雖て馴染を重ねゐたる獨逸人の醜業婦と共に相携へて遠く新嘉坡に駆落しその後諸所を徘徊中この程上海にれいて逮捕せられたる米國書記官ホーナ氏は過日愈々警務地なる天津に護送されたり

▲大阪角力の初日 大坂大角力春場所は十一日午前三時番附發表十二日櫓上げ式をなし土俵祭を行ひ十三日大入十四日初日と決定したり

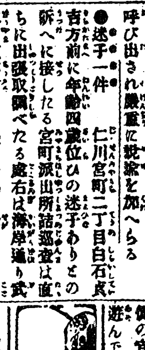
▲本年の地方巡業 相撲協會にては當一月場所打上げ後横濱興行を濟せたる後ち
常陸山、駒ヶ嶽、凰、碇潟、大の川、大錦、小常陸、大湊、小柳、柏戸の組と
梅ヶ谷、太刀山、伊勢濱、玉椿、鏡川、鶴渡り、大鳴門、梅の花、上汐、瀧の音の組
西の海、高見山、山泉、尼ヶ崎、八島山、陣立、大𥔎、神崎の組と
國見山、朝嵐、黒瀬川、浪の音、綾浪、氷見濱、稻瀬川の組と
緑島、有明、龍ヶ崎の組と
の五手に分けて九州中國東北地方北海道等の巡業興行をなす筈なり

▲寒中の筍 富山縣中新川郡宮川村稱念寺の竹籔に二本の孟宗筍發生し地上五寸に伸び周圍六七寸に及びしが地方には珍らしき事とて見物人多し

▲母子の燒死 福井市毘島仲町堤わと(三十)は長女秋野(三)を抱へて機織をなして暮らし居りしが六日午前五時半燈を顚覆して出火し狼狽の極逃場を失ひ二人共無慘の燒死を遂げたり

▲世界各國の祭日

世界各國の祭日を數へて見ると獨逸が六十日佛國が六十二日英國が六十四日和蘭六十一日瑞西が五十八日米國が五十九日日本が六十日(日曜が五十二日國祭八日)で露國は飛び離れて九十一日乃至九十四日もある其外民國の祭日を數ふると所に依りて百二十日乃至百六十日に上つてゐる何でも歐洲各國では一年中の勞働日が大抵三百日乃至三百五日だが露國では平均して二百五十日位しかないといふが同じ日本人でも韓國側の官吏なぞは此の方の御親類だ併し遊んで濟めば夫れで結構す



●天氣豫報

自十日午後六時 至十一日午後六時

北西の風晴後曇

八日(華氏) 最高温度 三五、四 最低温度 二八、四